

地方創生推進タイプ (先駆型・横展開型・Society5.0型)

事業概要【移住定住促進と関係人口創出によるまちづくり推進事業】

推進当初

申請者	奈良県天理市	初回採択回	令和3年度第1回募集	
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	53,775千円 (8,332千円)	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野	
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> • 空き家の活用や雇用に対するマッチング事業による、移住施策の推進。 • 既存コミュニティを移住者にも寛容で地域課題解決型に転換することによる、関係人口の創出。 • 豊かな自然を活かした持続可能な循環型の里山の魅力を活かした地域づくり。 • 農やスポーツの体験を取り入れた“旅”を通じた、多世代活躍の場や関係人口の創出。 			
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<p>○移住情報提供や移住者と地域との関係づくりのための支援実施。高原地域では、持続可能な循環型里山暮らしを推進。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 移住促進委託料 250千円 • 大和高原「福住村」プロジェクト負担金 3,500千円 <p>○農やスポーツの体験を取り入れた“旅”に関する事業などの実施による、関係人口の創出。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 多世代活躍関係人口創出事業補助金 200千円 • 地域内外交流促進事業委託料 1,000千円 • 地域経済活性化事業（おてつたび事業）補助金 730千円 • 天理市スポーツツーリズム推進協議会負担金 2,000千円 <p>○移住者の就職・創業関係の支援、サテライトオフィス活用事業の実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 創業、起業等相談会事業 502千円 • サテライトオフィス等利用促進事業 150千円 			
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ol style="list-style-type: none"> ①事業を通じた移住世帯数 (+38世帯) ②事業を通じた移住相談件数 (+310件) ③事業を通じた関係人口数 (+400人) 		関連URL	https://www.city.tenri.nara.jp/ka-kuka/shichoukoushitsu/sougousei-sakuka/top/tenrisimachihitosigoto-souseikaigi/index.html

事業概要【奥大和地域における拠点のネットワーク化とシビックプライドの醸成】

推進当初

申請者	奈良県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	563,733千円 (165,660千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・住み続けたい、還りたい地域づくり (定住の促進) ・訪れてみたい地域づくり (交流の促進) ・力強い市町村づくり 		
事業概要・主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<p>○engawaをHUBに各地域拠点を結節 (ネットワーク化) させる取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生や住民へのengawa開放業務 (委託料等) 29,513千円 <p>○奥大和地域内外の学生 (高校生・大学生) を対象とした郷土教育及びシビックプライド醸成のための取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通事業者と連携し、地域の情報等を地域外の学生らに情報発信 (負担金) 20,000千円 <p>○奥大和地域の事業者が外貨を稼ぐ力を増やし、地域の学生等が就業できる環境を整えるための取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツツーリズムを推進し、観光業を活性化。(委託料) 30,000千円 <p>○奥大和地域の基幹産業の担い手を確保するための取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木材加工業等振興のため、シェアファクトリー等の整備を支援。(委託料) 1,991千円 		
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ol style="list-style-type: none"> ①南部・東部地域の社会増減 (+1,215人) ②結節した交流拠点数 (+9箇所) ③Uターンによる移住者数 (+24人) 		関連URL https://www.pref.nara.jp/40445.htm



事業概要【未来を造る新技術と新産業の振興事業】

推進当初

申請者	奈良県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	393,669千円 (137,023千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・製造業における研究開発を促進することで、県内産業の基盤強化を図り及び新規産業の創出を図る。 ・地域の中小企業の技術に関する相談窓口である公設試験研究機関（以下「公設試」という）が十分な連携を図ることで、民間企業の研究開発の効率化による早期の事業化、製品化を図り、県内産業の活性化に繋げる。 		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> ○県内公設試による共同研究、民間への技術移転 (891千円) ○県内公設試の研究内容等をPRし、認知度向上を図る (661千円) ○将来の県の産業を牽引する領域や県内企業の技術課題等に沿った研究を推進 (2,700千円) ○研究成果を活かし製品化に繋げるための県産材のサプライチェーンを構築 (9,988千円) ○マーケットインのデータ活用推進 (販売段階におけるEコマースやSNS等のマーケットインのデータ取得、活用支援) (10,637千円) ○民間企業の研究開発を支援することによる、企業の製品開発力の強化 (94,970千円) ○民間企業の未販売製品および販売製品の精度向上を図る (17,176千円) 		<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="background-color: #4a7ebb; color: white; padding: 5px; border-radius: 10px; text-align: center;"> <p>県 (県内公設試)</p> </div> <div style="background-color: #e67e22; color: white; padding: 5px; border-radius: 10px; text-align: center;"> <p>民間企業</p> </div> </div> <div style="background-color: #fff9c4; padding: 10px; border: 1px solid #ccc; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">技術力の向上</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>県内企業のニーズに沿った研究開発</p> <p>研究内容、技術シーズの発信</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>学術機関などのコディネーターの活用</p> <p>研究開発に対する県の技術的、財政的支援</p> </div> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;"> <p>共同研究</p> <p>基盤産業の強化 新規産業の創出</p> </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div>
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①公設試における共同研究数 (+5件) ②公設試のPRをするイベントの参加者数 (+75人) ③公設試が連携した研究の外部発表・論文件数 (+7件) 		<p>関連URL</p> <p>https://www.pref.nara.jp/40445.htm</p>

申請者	奈良県	初回採択回	令和4年度第1回募集	
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	236,092千円 (68,416千円)	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	働き方改革分野	
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・求職者の県内就労促進するとともに職場定着と離職防止を図る ・企業へ働き方改革や福利厚生充実により県内就労促進と定着を促進する ・求職者や学生に県内企業を知る機会を作り県内就労の促進、職場定着や離職防止を図る ・人材育成により県内就労や再就職支援を促進する 			
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> ○県内就労促進・再就職支援 <ul style="list-style-type: none"> ・就業相談、マッチングの実施 26,536千円 ・障害のある人の職場体験実習、障害者就労施設の生産する商品の商品力、販売力の向上支援 2,706千円 ○職場定着・離職防止 <ul style="list-style-type: none"> ・就労者の奨学金返済を支援する企業を県が支援するための制度の広報 100千円 ・企業へ専門家を派遣し、企業の働き方改革推進を支援 7,130千円 ・大学生のインターンシップの実施 9,062千円 ○人材育成 <ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用した実践的カリキュラムを作成し、学生に参加させる 5,708千円 ・働くことに不安を感じている方に職場実習を実施 10,362千円 ・小中学生を対象に職業体験教室を開催 2,780千円 		 <p>就業相談の様子</p>	
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①大卒後就職3年目までの離職率 (▲3.0%) ②就業地別有効求人倍率(季節調整値、加重平均) (+0.31倍) ③県支援のもとに職場環境改善や働き方改革に取り組む県内企業数 (+33社) 		関連URL	https://www.pref.nara.jp/40445.htm

事業概要【2025大阪・関西万博を契機とした周遊型観光と食・農の消費・販路拡大促進プロジェクト】

推進当初

申請者	奈良県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	296,374千円 (92,227千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	<p>・世界中から多くの人が集まる大阪・関西万博を契機に、本県の持つ歴史・文化等を世界に発信し、観光誘客の促進と観光産業の回復を図る。</p>		
<p>事業概要・ 主な経費</p> <p>※経費内訳はR6年度事業費</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○県産食材を使用する飲食店・宿泊施設等の情報サイト構築 (委託料) 1,792千円 ○県産食材を味わえる大規模食イベントの開催 (補助金) 4,000千円 ○観光振興の土台づくりに向けた地域支援及び連携促進 (委託料) 19,000千円 ○UNWTOと連携した地域支援 (委託料) 6,500千円 ○商談会の開催等による宿泊施設誘致 (委託料) 20,731千円 ○HPやSNS等を活用した国内外への情報発信 (委託料) 22,176千円 ○政府機関等と連携した観光プロモーション実施 (委託料) 12,000千円 ○うだ・アニマルパークを拠点としたマルシェ等実施 (委託料) 2,114千円 ○奥大和地域にかかる関係人口創出イベント等実施 (委託料) 3,914千円 		
<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①奥大和地域における入込客数 (+482千人) ②奈良市における観光入込客数 (+963千人) ③県産食材を活用している県内飲食店数 (+200店) 	<p>関連URL</p>	<p>https://www.pref.nara.jp/40445.htm</p>

事業概要【元気なら農業活性化プロジェクト】

推進当初

申請者	奈良県奈良市	初回採択回	令和4年度第2回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	142,715千円 (51,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・耕作放棄地対策のため、耕作放棄地等において高収益作物であるキウイフルーツの試験栽培を行う。 ・就農希望者や市民が農業を学べるアカデミーを実施し、農業の担い手確保に繋げる。 ・特産品開発により、農産物のブランド化を図る。 		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>○元気なら農業活性化プロジェクト協議会の運営 事業推進 4,666千円 (外部専門家)、交通費1,500千円</p> <p>○元気なら農業アカデミー部会 元気なら農業アカデミー部会推進4,795千円、交通費1,200千円 (外部専門家)</p> <p>○果実生産部会 果実生産部会事業推進1,659千円、交通費800千円 (外部専門家)、 キウイ試験栽培専門家 (香川県農家) 1,800千円、交通費600千円 (キウイ農家)、キウイ栽培へのIT技術導入・情報発信7,200千円</p> <p>○特産品部会 特産品開発事業推進 3,000千円、交通費800千円 (外部専門家)、 研究会の開催 (講師謝金、交通費) 1,000千円、デザイン・コピー・写真 撮影費3,000千円、印刷代2,000千円</p> <p>○キウイ畑整備 苗木・肥料購入費580千円、農業施設整備費13,600千円、農機具 購入費2,800千円</p>		 
KPI ※カッコ内の数値は最終事業 年度までの「KPI増加分の累 計」の目標値	<ol style="list-style-type: none"> ①耕作放棄地等からキウイ畑への転用面積 (+9反) ②元気なら農業アカデミーのプログラム受講生数 (+60人) ③農家アウトドアレストラン、畑の八百屋さん等のアカデミー参加 (+350人) ④商品開発数 (+6個) 		<p>関連URL</p> <p>(交付金の具体的使途・実施体制) 調整中 (効果検証) https://www.city.nara.lg.jp/soshiki/4/10863.html</p>

事業概要【移住促進コンシェルジュ育成と官民連携移住促進体制整備事業】

推進当初

申請者	奈良県橿原市	初回採択回	令和4年度第1回募集	
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	14,787千円 (3,712千円)	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野	
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> 先輩移住者へのインタビューやPR動画を作成し、市ホームページやYouTube、SNS広告等に掲載し、本市の認知度向上と関係人口の増加を目指す 移住者目線でのきめ細やかな移住相談・情報提供を目指し移住者コミュニティの構築を支援する 首都圏や関西圏での移住イベント・相談会に参加し、潜在的移住者を移住に繋げる 			
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<ul style="list-style-type: none"> ○首都圏の主要駅のデジタルサイネージに広告掲載 <ul style="list-style-type: none"> ・交通広告掲載 (委託料) 1,056千円 ○移住を検討しているユーザーに対してYouTubeやInstagramに広告掲載 <ul style="list-style-type: none"> ・SNS広告掲載 (委託料) 1,744千円 ○移住者コミュニティの構築支援をNPOに委託 <ul style="list-style-type: none"> ・移住者コミュニティ支援業務 (委託料) 500千円 ○先輩移住者を講師として招き、移住セミナー・個別相談会の実施や、大規模移住イベント等に出展 <ul style="list-style-type: none"> ・講師謝金 (報償費) 110千円 ・移住イベント参加負担金 (負担金) 253千円 ・チラシ等運搬費用 (運搬料) 49千円 			
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ① 0～4歳児の社会増減 (+80人) ② 年間の移住相談 (+125件) ③ 移住促進コンシェルジュHP年間閲覧回数 (+3,200回) 		関連URL (交付金の具体的使途・実施体制)調整中 (効果検証) https://www.city.kashihara.nara.jp/soshiki/1006/gyomu/9/5/3521.html	

事業概要【新庁舎及び旧庁舎周辺を核としたにぎわいづくりによる関係人口創出事業】

推進当初

申請者	奈良県五條市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	43,825千円 (11,934千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・関係人口の関りを深めること、関わり方を広げること、新たな関りを創ることを目的にする。 ・これから地域に関わりを持ちたいと考える人たちのニーズをとらえた取組を推進する。 ・これまで地域との関わりがあった人たちを対象に、地域と改めて継続的なつながりを持つ機会を創出する。 ・地域資源の魅力を現在の感性で見直し、新たな関係人口の獲得に向けた取組を推進する。 		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> ■『継続的なつながりを持つことができる仕組みづくり』及び『地元に戻るきっかけとなる地域のシンボルづくり』 マルシェ事業 961千円、イルミネーション事業 574千円 ■『大学生などの地域外の若者の視点を活用したイベントの構築』及び『デジタルを活用した仕組みづくり』 サイクリング事業経費 4,981千円、吉野川活性化イベント経費 3,000千円、大学連携事業経費 728千円、重伝建活性化事業経費 550千円、映像発信経費 1,140千円 		
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ol style="list-style-type: none"> ①開催者の立場でイベント等に参画した人数 (+50人) ②SNSを利用したアンケート回答者のうち市外の方の人数 (+400人) ③マルシェ等出展者の総売り上げ (+3,000,000円) 		関連URL https://www.city.gojo.lg.jp/material/files/group/3/hyoukaR4.pdf (最終頁にK P I 実績を記載)

事業概要【農業×商工×観光連携によるたわらもとフード・ラボ事業】

推進当初

申請者	奈良県田原本町	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	19,400千円 (5,800千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的 (効果)	<p>・地元食材の高収益化の促進や地場製品のブランド力の向上、地域資源を活用した新たな観光資源の開発などにより、農業者や事業者の所得の安定・向上や観光消費を増加させ、地域経済循環の促進を図る。</p>		
<p>事業概要・ 主な経費</p> <p>※経費内訳はR6年度事業費</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○農業者の高収益化促進 <ul style="list-style-type: none"> ・稲作から高収益作物生産への転換促進 (奨励金) (令和6年度は対象外) ・農業用機械導入 (補助金) (令和6年度は対象外) ○農地を活用した地域づくり交流事業の実施支援 (補助金) 300千円 ○特産品等開発支援 (補助金) 1,500千円 ○生産者と料理人・飲食店等による地域の食の研究、商品化に係る活動支援 (補助金) 4,000千円 		
<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①高収益作物転換支援により収益が増加した農業者数 (+13人) ②農地を活用した地域づくり交流事業への参加人数 (+130人) ③特産品等開発支援件数 (+7件) ④たわらもとフード・ラボを通じた生産者と料理人等のマッチングによる新規商品 (メニュー含む) 開発件数 (+21件) 	<p>関連URL</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 田原本町ホームページ (田原本町まち・ひと・しごと総合戦略の進捗状況及び地方創生交付金事業の効果検証結果について) <p>http://www.town.tawaramoto.nara.jp/soshki/kousitsu/seisaku/gyo-sei/keikaku_sesaku/keikaku/comprehensive_strategy/5256.html</p>

事業概要【地域資源の高度化によるブランディング実践事業】

推進当初

申請者	奈良県広陵町	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	35,995千円 (17,500千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	地域産品のブランディングを実践するに当たり、専門的な知見を有するコーディネーターの招聘や国内外に広く情報発信するPRプラットフォーム構築を行うことで、町内の事業者が大手企業からの下請け体質を脱却し、自社ブランド商品の販売比率を高めた高収益な経営に転換すること。また、町内に多様な「働く場所」が生まれることで、現役世代の人口流出を抑制し、地域経済全体の活性化を実現すること。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>「広陵くつした」ブランディング支援事業</p> <p>(1) コーディネーターの招聘に係る費用 1,000千円 (2) 広陵町産業総合支援機構業務委託費 13,500千円 (主な経費)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「広陵くつした」博物館における販売人員に係る経費 ・コーディネーターにより開拓された新たな市場への営業活動費 ・ECサイトリニューアルに係る経費 ・広告宣伝、イベント開催に係る経費 <p>広陵町産イチゴ及び「イチゴ産地広陵町」ブランディング支援事業</p> <p>(1) 広陵町産業総合支援機構業務委託費 1,500千円 (主な経費)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PRイベント開催、SNS 		 
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①各種メディアにおける掲載及び放送回数 (+15回) ②コーディネーター連携による開発商品数 (+15件) ③「広陵くつした」参画事業者数 (+5件) ④地域商社が運営するECサイトアクセス数 (+108,001,000件)</p>		<p>関連URL</p> <p>「広陵くつした」Instagram https://www.instagram.com/koryo_kutsushita/ ストロベリータウン広陵 公式サイト https://nariwai-koryo-nara.or.jp/strawberrytown/</p>

事業概要【大和郡山城下町エリア商業リブランディング推進業務】

推進当初

申請者	奈良県大和郡山市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	45,545千円 (15,850千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的なまちなみや商店街で商いを楽しむヒトの魅力を伝えることをリブランディングのテーマとし、城下町エリアの価値向上を目指す ・商店街の利用者数を増やし、持続的な賑わいを生み出す ・都市機能が集まり、商業の中心である城下町エリアに都市型産業を集積させ、コンパクトシティの形成を図る ・若者世代の転出抑制・転入増加を図り、定住者を増やす 		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<p>○城下町エリアのリブランディングテーマにそった定期マーケットの開催や冊子等の作成、創業希望者のマーケット出店や創業に向けた助言や継続した経営ができるノウハウを提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エリアプロデュース業務 2,221千円 ・マーケットの開催 7,648千円 ・地元店の魅力を伝える冊子等の作成 3,342円 ・創業希望者に対する伴走支援型プログラムの実施 1,298千円 <p>○学生が高齢世帯の住居で高齢者との同居をマッチングする次世代下宿推進業務（大和郡山ソリデール）の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生と高齢者の同居マッチングシステムの運営 770千円 ・説明会運営費 396千円 ・その他経費 175千円 		
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ol style="list-style-type: none"> ①事業を通して来客数が増加した店舗の数 (+ 35件) ②マーケットへの出店件数 (+ 55件) ③伴走型支援プログラムへの参加者数 (+ 11人) ④前年と比較した転入者数の増加数 (+ 100人) 		関連URL (交付金の具体的使途・実施体制) 現在調整中 (効果検証) https://www.city.yamatokoriyama.lg.jp/shiseijoho/shinokeikaku/sougousennryaku/7174.html

事業概要【葛城IC周辺エリアを軸とした観光産業創出事業】

推進当初

申請者	奈良県葛城市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	72,534千円 (20,300千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・奈良県西の玄関口として相撲を軸とした葛城ブランドの確立及び観光情報の発信拠点化 ・南阪奈道路のかつらぎICエリアを中心とした賑わいの創出及び宿泊施設の誘致による滞在型観光促進 ・唯一性の高い相撲発祥の地をキーとして、相撲に関連したイベントを通じた地域内外へのPRによる地域への浸透 ・『食』の視点から相撲に関連したイベントの実施、商品の開発など観光消費額を押し上げるための施策展開 		
事業概要・ 主な経費	<ul style="list-style-type: none"> ○ちゃんこ鍋コンテスト等相撲に関連したイベントの実施 ・イベント関連経費 (委託料) : 3,300千円 ○道の駅への更なる誘客促進を目的に、隣接するしあわせの森公園展望広場の景観を活用したイベント・教室の実施 ・講師謝礼費 : 200千円、消耗品費 : 300千円 ○ちゃんこ鍋コンテスト優秀作品レシピを基に、ちゃんこ鍋商品開発のための試作・商品化 ・商品開発関連経費 (委託料) : 500千円 ○葛城IC周辺エリアを中心とした広域観光の促進、県内での最初と最後の滞在拠点となる滞在型観光の創出に向けたまちづくりの基本構想策定 ・基本構想策定関連経費 (委託料) : 6,000千円 ○インバウンド向け観光動画の制作及び海外に向けたプロモーションの促進 動画制作・プロモーション経費 (委託料) : 10,000千円 		 <p>【第1回けはやちゃんこ鍋コンテストの様子】</p>  <p>【第1回けはやちゃんこ鍋コンテストの様子】</p>  <p>【景観を活用したイベント・教室(ヨガ教室)】</p>
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①道の駅かつらぎ売上額 (+12,345千円) ②観光インフォメーション利用者数 (+48人) ③相撲発祥の地の認知割合 (+25%) ④市内飲食店従業員新規雇用者数 (+5人) 		<p>関連URL</p> <p>https://www.city.katsuragi.nara.jp/soshiki/shokokankoka/index.html</p>
※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値			

事業概要【既存資産を活用した地域課題解決型企業誘致促進事業】

推進当初

申請者	奈良県宇陀市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	26,700千円 (10,230千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・空洞化が進む中心市街地の活性化を図り、関係人口の増加を目指す。 ・就業しやすいテレワーク環境を提供し、地方で働く人材の確保を行うことにより、働きやすく住みやすい環境づくりによる市内での安定定住や移住の促進を図る。 ・様々な地域課題に対して、高原都市宇陀を持続的に発展させていくために、企業との連携を推進し、「地元産業の活性化」、「事業の誘致」、「雇用の創出」を目指す。 		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<ul style="list-style-type: none"> ○企業誘致支援業務委託費 ・民間事業者の仲介によるマッチングイベントへの出展や誘致活動支援を主体する企業誘致を促進するための業務委託費 4,730千円 ○企業誘致事業費 ・実証実験等支援金 500千円 市有物件等で事業展開の可能性を検証する実証実験費用 ・企業進出支援金 4,000千円 市有物件等への進出に際し、移転に係る費用等の一部を支援 ○サテライトオフィス進出支援金 1,000千円 		 <p>奈良サテライトオフィスうだ</p>
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①廃校等の未利用公有資産及び民間の空き倉庫等への企業誘致件数 (+5件) ②サテライトオフィスのオフィススペースへの企業進出件数 (+5件) ③移住者数 (+502人) 		<p>関連URL</p> <p>(交付金の具体的使途・実施体制)調整中 (効果検証) 令和6年12月公表予定</p>

申請者	奈良県宇陀市	初回採択回	令和5年度第2回募集	
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	30,000千円 (11,000千円)	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野	
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設を活用し最先端デジタル教育の場を提供をすることで、デジタル人材の育成や公共施設の利用を高める ・最先端デジタル教育を推進する企業の市内への進出に向けた支援をすることにより、中心市街地の活性化及び雇用の創出を図る 			
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> ○最先端デジタル教育体験委託費 <ul style="list-style-type: none"> ・地方自治体のDXを推進する民間企業や民間デジタル教育施設で、本市への進出を検討している民間企業等と連携し、榛原総合センターを活用した最先端デジタル教育の体験委託費 10,000千円 実施主体：宇陀市（本市への進出を予定しているDXを推進する民間企業等に委託） ○進出企業支援事業 <ul style="list-style-type: none"> ・実証実験等支援金 1,000千円(500千円×2件) 進出検討企業が、事業展開の可能性を検証する実証実験の旅費、光熱水費等の一部を支援 実施主体：実証実験を行うDXを推進する民間企業等（宇陀市は民間企業等に対して支援） 		 <p style="text-align: center;">デジタル教育の様子</p>	
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①榛原総合センター施設利用者数 (+9,500人) ②デジタル教育参加人数 (+4,000人) ③サテライトオフィスを活用し起業した事業所数 (+15件) 		関連URL (交付金の具体的使途・実施体制)調整中 (効果検証) 令和6年12月公表予定	

事業概要【みやけ発ローカルスタートアップ推進事業】

推進当初

申請者	奈良県三宅町	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	37,500千円 (11,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	<p>三宅町が掲げる20年後のビジョン「自分らしくハッピーにスモール(住もうる)タウン」の実現に向けて、自由な発想で地域課題に立ち向かう挑戦者と共に三宅町発の新規ビジネスの創出に取り組み、関係人口の創出及びビジネスによる官民共創での地域課題解決を目指す。</p> <p>2024年度は約半年間の起業家育成講座、デジタル情報発信講座、シンポジウムを実施する。</p>		
事業概要・ 主な経費	<p>実施内容</p> <p>(1) 起業家育成講座の開催：起業の基礎的な知識の習得や、三宅町の地域課題等を実感するカリキュラムを通し、ビジネス実践に意欲的に取り組む者を発掘する。</p> <p>(2) シンポジウムの開催：三宅町の地域資源を生かしたビジネス創出のヒントを得る</p> <p>(3) デジタル情報発信によるビジネス創出：三宅町の魅力をデジタル情報発信の専門家等を通じて探求する。</p> <p>経費 委託費 11,000千円</p>		 <p>Miyake Local Startup</p> <p>日本で2番目に小さい町、奈良県三宅町が 仕掛ける大挑戦</p>
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①スタートアップ関連企画の参加者 (+100人)</p> <p>②本事業によって生まれた事業数 (+7件)</p> <p>③自治体・民間企業との連携 (+7件)</p> <p>④本事業によって解決した地域課題 (+3件)</p>		<p>関連URL</p> <p>https://spot.creww.me/com/miyake-local-startups-2023</p>

事業概要【下市町賑わい創出事業】

推進当初

<p>申請者</p>	<p>奈良県下市町</p>	<p>初回採択回</p>	<p>令和5年度第1回募集</p>
<p>事業計画期間</p>	<p>R5-R7年度</p>	<p>期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)</p>	<p>88,400千円 (31,400千円)</p>
<p>事業タイプ・類型</p>	<p>地方創生推進タイプ・横展開型</p>	<p>事業分野</p>	<p>まちづくり分野</p>
<p>目的 (効果)</p>	<p>下市町全体の賑わいを創出するため、各賑わい拠点を運営する事業者と町・地域等が連携・協働し、下市町全体の賑わいを創出する取り組みを行う「下市町賑わい創出協議会」の推進体制を構築し、構成団体間において下市町全体の賑わい創出の取組について方向性を共有し、取組の基本方針となる「下市町賑わい創出ビジョン（下市町賑わい創出基本方針）」の実現を目指す。</p>		
<p>事業概要・ 主な経費</p> <p>※経費内訳はR6年度事業費</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○地方創生推進人材の配置、人材育成、活動支援 (人件費、補助金、委託料) 17,500千円 ○地域活性化や賑わい創出に資する取組に対する補助、負担 (補助金、負担金) 8,300千円 ○地域交流拠点での地域交流活動・地域DX事業実施 (人件費、委託料、備品購入費) 2,600千円 ○「新たな賑わい拠点」等への誘客促進 (需用費、役務費、備品購入費、補助金) 2,000千円 ○短期移住体験の促進。利活用可能な遊休農地の調査 (人件費、委託料) 1,000千円 <div data-bbox="1368 724 2163 1270" data-label="Image"> </div>		
<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①転入者数 (移住者) (+50人) ②新たな交流イベントの実施・支援 (+13件) ③起業など新たな取り組みに対する支援 (+13件) ④SNS登録者数 (+4,000人) 		<p>関連URL</p> <p>調整中</p>

事業概要【村の未来を担う人材育成 関係人口・交流人口の拡大事業】

推進当初

申請者	奈良県下北山村	初回採択回	令和5年度第1回募集	
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	47,134千円 (14,200千円)	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野	
目的（効果）	<p>【地方創生人材の育成】 人材育成により村の未来を担う地方創生人材の育成により持続可能な村づくりを推進し、行政、民間事業者との関係性を構築し、新たな村のビジョンに向かって行動できる人材を育成することで今後の社会の変化にも迅速に対応できる仕組みづくりを行う。</p> <p>【観光振興】 交流人口に対するデータ分析や観光コンテンツの提供を通じて、ニーズを把握し村の魅力が伝わるプロモーション、ブランディングを行うことで観光分野での収益改善や村のファンの増加を目指す。</p> <p>【移住定住】 都市部の関係人口が積極的にかかわることができる課題解決型のプログラムを開発することで、関係人口のスキルを活かすことができ地域活性化に繋げる。</p>			
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> ○村内の人材、事業者等が参加する人材育成プログラムを実施 <ul style="list-style-type: none"> ・プログラム企画、運営費（委託料）6,700千円 ○関係人口創出に向けたイベントの実施 <ul style="list-style-type: none"> ・イベント企画、運営（委託料）2,000千円 ○民間事業者と連携したスポーツ振興イベントを実施することで交流人口の拡大を促進 <ul style="list-style-type: none"> ・イベント企画、運営（委託料）1,500千円 ○村内の観光資源を活用したアクティビティや体験コンテンツの開発およびガイド人材の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・体験コンテンツ開発費（委託料）4,000千円 			
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①移住者（+12人） ②本事業における関係人口創出施設利用者数（+90人） ③本事業の実施施設の利用者数（+30人） 		関連URL	調整中

申請者	奈良県	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	203,617千円 (56,339千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	①県内の若者 (起業家予備軍) の支援、②産学官連携を中心としたスタートアップの成長支援、③県内企業とスタートアップの連携の3つの視点から起業やイノベーションを通じたビジネスの創出 (スタートアップの創出) を図る		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> ○県内の若者 (起業家予備軍) の支援 <ul style="list-style-type: none"> ・イベントの開催 (委託料) 5,000千円 ・PR資料の印刷 100千円 ○産学官連携を中心としたスタートアップの成長支援 <ul style="list-style-type: none"> ・大学シーズ発掘 (委託料) 7,000千円 ・事業化補助金伴走支援 (委託料) 10,000千円 ・事業共創・資金調達運営 (委託料) 1,320千円 ・事業化補助金 (補助金) 15,000千円 ・会場借り上げ料 1,176千円 ・PR資料印刷 203千円 ・郵送料及び通信費 80千円 ・有識者謝金 260千円 ○県内企業とスタートアップの連携 <ul style="list-style-type: none"> ・オープンイノベーションプログラム (委託料) 15,000千円 ・インキュベーション施設利用補助金 (補助金) 1,200千円 </div> <div style="width: 50%;"> </div> </div>		
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①「J-Startup KANSAI」認定スタートアップ企業数 (+3件) ②KSACのギャップファンドからの資金調達件数 (+10件) ③スタートアップと県内企業・地域社会との新たな連携件数 (+12件) ④県が主催・共催するアントレプレナーシップイベントの参加者数 (+100人) 		<p>関連URL</p> <p>https://www.pref.nara.jp/40445.htm</p>

事業概要【観光DXの推進による観光地経営の高度化】

推進当初

申請者	奈良県	初回採択回	令和6年度第1回募集	
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	170,683千円 (58,683千円)	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野	
目的 (効果)	<p>観光に関するデータやデジタル技術を活用し、県、市町村といった行政や県内事業者等が、状況の変化に応じて、適時適確で効果的な施策の遂行や事業の展開をするための「データ活用による効果的な地域活性化」、変化に対応した誘客を行うための「デジタル技術を活用した来訪者への新たな価値創造」を実施していくことにより、観光消費額や宿泊者数の増加等による地域活性化を目指す。</p>			
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> ○県内における観光客の人流動態を「見える化」するツールの導入、伴走支援 (委託料：35,000千円) <ul style="list-style-type: none"> ・「見える化」ツールの導入 ・ツールの操作説明会、活用勉強会の開催、フォローアップの実施 ○事業者間・地域間のデータを収集・連携・蓄積し、整理集約した「地域データベース」を構築し、活用促進に向けた周知・伴走支援を行う。 ○ウォークルートや現在地を把握しながら、観光スポット、施設、案内サインを確認することなどができるようにするため、奈良県ウォーキングポータルサイトの地図のGISデータ化を行う。 (委託料：23,683千円) 		<div style="text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">ツール導入、データベースの構築など</div> <div style="font-size: 2em; margin-bottom: 10px;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">県、市町村、事業者などで、効果的な 施策遂行・事業展開に活用</div> <div style="font-size: 2em; margin-bottom: 10px;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">宿泊者数、観光消費額の増加等</div> </div>	
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①観光消費額 (+34,180百万円) ②延べ宿泊者数 (+1,098,000人) ③地域データベースの利用者数 (+50者) ④ウォーキングポータルサイトの閲覧数 (+427,000回) 		関連URL	https://www.pref.nara.jp/40445.htm

事業概要【観光・農業振興に向けた産・官・学連携人材育成プラットフォーム構築プロジェクト】

推進当初

申請者	奈良県天理市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	63,972千円 (19,724千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> 天理大学・(株)モンベル共同体と連携し、天理駅前観光・農業一体の地域振興に貢献できる人材育成拠点を新設。 天理駅前拠点施設（観光・農業専門人材育成）において、天理大学は学生への特別講義に加え、市民向けのリカレント教育も実施。また、(株)モンベル（天理大学と連携協定）、地元企業等と連携し、インターンシップを含む実践を通じた大学生の観光・農業振興に関わるノウハウの習得を目指す。さらに、インバウンド需要に対し、ネイティブプロデューサーの雇用やデジタル技術（位置情報連動多言語観光アプリ）を活用し、新たな観光振興を図る。 これら産・官・学連携事業により、新たな視点による若年層や外国人観光客を中心とする観光振興、天理の農産品のブランド価値の創出によるまちづくりを実施する。 		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<p>○将来の観光・農業に関わる人材育成に係る講師の招聘や実践の場づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光人材育成（委託料）4,000千円 ・農業人材育成（委託料）4,000千円 ・観光コンシェルジュ（委託料）3,000千円 ○大学生が(株)モンベルや地元企業と協働で開発した農産品等の販売や販路拡大 ・特産品販売（委託料）2,300千円 ・メニュー開発・販路拡大（委託料）1,000千円 ○「モンベルフレンドエリア」を活用した観光フィールドの周知 ・登録料（手数料） 924千円 ○インバウンドに対応した人材育成の補助、情報発信・プロモーションを担う外国人ネイティブプロデューサーの雇用(人件費) 4,500千円 		
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ol style="list-style-type: none"> ①観光消費額（+85,000,000円） ②人材育成講座受講者数（+100人） ③観光コンシェルジュ利用者数（+3,500人） ④新規就農者数（+16人） 		<p>関連URL</p> <p>https://www.city.tenri.nara.jp/ka-kuka/shichoukoushitsu/sougousei-sakuka/top/tenrisimachihitosigotosouseikaigi/index.html</p>



事業概要【過去と未来を繋ぐ祈りの道「伊勢本街道」宇陀のオンリーワン魅力創出事業】

推進当初

申請者	奈良県宇陀市	初回採択回	令和6年度第1回募集	
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	28,320千円 (8,200千円)	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野	
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・伊勢本街道を中心に観光地及び観光名所を面で結び、着地型観光や周遊観光を創出する。 ・今まで本市に訪れたことがない新しい観光客の獲得を図る。 ・宇陀市が誇れる観光資源「オンリーワンの魅力」を訴求する。 ・交通手段に左右されない観光を実現する。 			
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> ○伊勢本街道と観光地及び観光名所を結ぶ周遊観光の拠点「新宿場町」の整備事業 ・現地調査、伊勢本街道の魅力及び課題の整理、魅力ビジョンの検討、拠点エリアの検討業務 (委託料) 4,700千円 ○モデルコース造成事業 ・モデルコースの現況整理 (地形、植生、権利、支障物等) とコース検討業務 (委託料) 700千円 ○観光地及び観光名所音声ガイドアプリ導入事業 ・観光地及び観光名所音声ガイドアプリ開発 (委託料) 800千円 ○プロモーション事業 ・デジタルサイネージ購入経費 (備品購入費) 2,000千円 			
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①市有観光施設観光消費額 (+25,000千円) ②主要観光施設観光入込客数 (+43,000人) ③周遊観光モデルコース造成数 (+10件) 		関連URL (交付金の具体的使途・実施体制)調整中 (効果検証) 令和7年12月公表予定	

事業概要【商いからはじまる地域まちづくり事業～小さな地域商社設立～】

推進当初

申請者	奈良県大淀町	初回採択回	令和6年度第1回募集	
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	117,001千円 (41,201千円)	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野	
目的 (効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域 (エリア) ごとに地域課題を商品化する「地域の新しい事業推進主体 (小さな地域商社)」づくりを進める。 ・地域資源を活用できる「事業者のデジタル変革」を支援し、地域の稼ぐ力と地域経済循環率を高める。 ・人、地域、企業、行政それぞれの『対話』を自らデジタル化できる人材育成とデジタル活用基盤の構築を進める。 			
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR6年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> ○小さな地域商社設立に係る経費 <ul style="list-style-type: none"> ・課題解決型イベント実施支援、まちづくり計画策定 13,000千円 ○町内企業の変革支援 <ul style="list-style-type: none"> ・専門家による経営相談、セミナー開催 (委託料) 13,000千円 ○地域資源を活用した地域内外での認知、商品販路開拓支援 <ul style="list-style-type: none"> ・新規商品開発支援、テストマーケティング (委託料) 7,500千円 ・販路開拓等に係るスタッフ雇用 (人件費) 3,242千円 ・地域の特産品等材料等購入 500千円 ・産業マルシェ開催に係る経費 (什器等設備費等) 1,500千円 ○対話型デジタルの実装に関する事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ノーコード型のアプリ利用料、アプリ開発講師委託料 2,459千円 			
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①地域における農林水産物 (加工品含む) の売上高 (+24,000千円) ②地域資源を活用したECサイト登録商品数 (サービス含む) (+28品) ③新たな地域運営組織 (小さな地域商社) を設立しようとする地域の数 (+3地域) ④地域デジタルポイント活用に取り組む企業数 (+9企業) 		関連URL	https://www.town.oyodo.lg.jp

地方創生推進タイプ (補正予算分)

事業概要【大阪・関西万博を契機とした産業観光を核とする地域振興事業】

人材育成	観光振興	ローカルイノベーション
○	○	○

推進補正

申請者	奈良県	採択回	令和6年度第1回募集	
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	200,000千円	
事業タイプ	地方創生推進タイプ・補正予算分	事業分野	ローカルイノベーション分野	
目的（効果）	2025年大阪・関西万博の開催を「産業観光」を核とする新たな地域振興につなげる。 ・県内産業製品の認知度向上、販路拡大による産業振興 ・人材育成・確保、事業承継、起業等の促進による地域経済の活性化 ・着地型・周遊型観光の推進による観光振興			
事業概要・主な経費	○万博開催に向けた県内製品等のブランディング、クラフトフェアの開催、オープンファクトリー実施の支援等 ・イベント開催、展示物作成等（負担金）100,000千円 ○EXPOウォレットのNFT機能を活用した県内周遊スタンプラリー等の実施 ・NFTの作成、スタンプラリーの実施等（負担金）20,000千円 ○万博テーマ事業プロデューサーである河瀬監督との連携による、県内市町村のPR映像の作成等 ・PR映像の作成等（負担金）40,000千円 ○万博をテーマとした学生向けのシンポジウムや企業との交流会の実施 ・シンポジウムの企画・運営経費等（負担金）30,000千円 ○公共交通機関・民間事業者等との連携による、南部東部地域への新たな送客手法等の検討 ・検討経費（負担金）10,000千円			
KPI	①地域における新規雇用者数（県内大学等卒業者就職者人数のうちの県内就職者の割合）（+3.0%） ②県内の地域一体型オープンファクトリー数（+3件） ③県主催クラフトフェア開催数（+3回）		関連URL https://www.pref.nara.jp/40445.htm	

地方創生拠点整備タイプ (当初予算分)

事業概要【洞川地区拠点施設整備事業】

拠点当初

申請者	奈良県天川村	初回採択回	令和4年度第1回募集												
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	717,088千円 (101,358千円)												
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ (当初予算分)	事業分野	観光分野												
目的 (効果)	<p>洞川温泉ビジターセンターは、本村の観光拠点施設となることから、「世界遺産」、「国立公園」など歴史・文化・自然が融合した世界的に貴重な場所があることを広くPRし、世界遺産を活用した体験コンテンツにも力を入れ、インバウンド観光にも対応した複合型施設となる。さらには未利用間伐材を熱源とした薪ボイラーを導入することで地域経済の循環が発生し、脱炭素につながる取組にもつながっており、これらの取り組む事により、過疎・高齢化に伴う人口減少問題に対応した取組を行える持続可能な観光地となることを目指す。</p>														
<p>整備内容・利活用方策</p> <p>※経費内訳はR6年度事業費</p>	<p>令和5年度に完成する洞川温泉ビジターセンターの敷地内駐車場の舗装整備や、当該施設のへの集客力を挙げるため近接する遊歩道の整備を行う。また施設敷地内にある既存の洞川温泉センター解体工事を行い、駐車場に整備し、集客台数を向上させる。</p> <p>○効果促進事業 (ハード事業)</p> <table border="0"> <tr> <td>【委託料】</td> <td>既存建物解体設計監理費</td> <td>881千円</td> </tr> <tr> <td>【委託料】</td> <td>駐車場等整備工事監理費</td> <td>1,763千円</td> </tr> <tr> <td>【工事請負費】</td> <td>既存建物解体工事費</td> <td>26,928千円</td> </tr> <tr> <td>【工事請負費】</td> <td>駐車場等整備工事費</td> <td>71,786千円</td> </tr> </table>	【委託料】	既存建物解体設計監理費	881千円	【委託料】	駐車場等整備工事監理費	1,763千円	【工事請負費】	既存建物解体工事費	26,928千円	【工事請負費】	駐車場等整備工事費	71,786千円		
【委託料】	既存建物解体設計監理費	881千円													
【委託料】	駐車場等整備工事監理費	1,763千円													
【工事請負費】	既存建物解体工事費	26,928千円													
【工事請負費】	駐車場等整備工事費	71,786千円													
KPI	<p>①観光宿泊者数 (+45,000人)</p> <p>②洞川地区1人当たりの観光消費額 (+31,000円)</p> <p>③地域内高齢者雇用数 (+5人)</p> <p>④山岳遭難における道迷いの減少 (▲5人)</p>		<p>関連URL</p> <p>https://www/vill.tenkawa.nara.jp/</p>												

事業概要【木育推進型インクルーシブ拠点整備事業】

拠点当初

申請者	奈良県三郷町	初回採択回	令和5年度第2回募集
事業計画期間	R5-6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	422,900千円 (387,700千円)
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ (当初予算分) ※R6年度はR5年度補正予算により早期執行	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	FSS35キャンパス (奈良学園大学跡地) に木育をテーマとした交流体験型ミュージアムや児童書を置いたライブラリーカフェ、障がい者アート等の展示ギャラリーなど、子育て世代を中心とした全年齢が楽しめる施設の整備を行い、施設での高齢者、障がい者雇用を通じて多世代交流の場とし、交流人口の拡大を図る。		
整備内容・利活用方策 ※経費内訳はR6年度事業費	<p>三郷町は、大学跡地を「FSS35キャンパス」と銘打って活用し、「生涯活躍のまち」の推進や将来像の実現を図っている。FSS35キャンパスの取組の一つとして、キャンパスの7号館の一部を「木育推進型インクルーシブ拠点」とした。</p> <p>具体的には1階を無料で入れるライブラリーカフェとし、約2,000冊の児童書等を置き、カフェやWi-Fiも完備することから、地域住民の憩いの場になるとともに、子育て世帯の親にとっては、施設内で子どもが遊び、ライブラリーカフェで仕事やテレワークを行う等、働き方改革にも寄与する。</p> <p>2階は、交流体験型ミュージアムとして、「木育」をテーマに木とふれあいながら歴史や文化、環境について楽しく学び、0歳から100歳までのすべての人が楽しめる施設とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木育推進型インクルーシブ拠点 (仮) 363,000千円 ・遊具・展示品等制作費 (ハード) 5,500千円 ・遊具・展示品等制作費 (ソフト) 19,200千円 		 
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①交流人口 (町外からの来館者) (+100,500人) ②木育型インクルーシブ拠点への入館者 (町内) (+8,100人) ③転入者数 (+260人) ④障がい者雇用数 (+10人) 		<p>関連URL</p> <p>https://www.town.sango.nara.jp</p>

地方創生拠点整備タイプ (補正予算分)

事業概要【奈良市創業支援施設「BONCHI」機能強化整備】

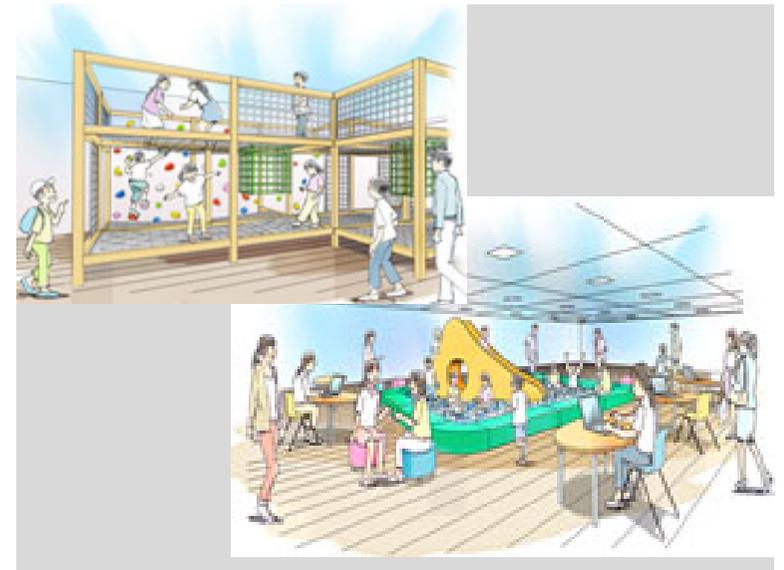
拠点補正

申請者	奈良県奈良市	採択回	令和6年度第2回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	34,400千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	市の創業支援の拠点にシェアオフィスを増置することにより、施設内での事業成長を促す機会を設け、今まで以上に多様な人材が集う場になることで、創業機運醸成や、創業支援事業の実施の幅を広げるだけでなく、「はたらくまち」としての奈良を発信し、市内の産業を持続・発展させていく。		
整備内容・利活用方策	<p>奈良市創業支援施設「BONCHI」において、3階を改修しシェアオフィスを増置する。BONCHIの機能強化を図ることで、コワーキング会員等の更なる事業成長や県外企業を呼び込み雇用を創出することができる環境を整備する。具体的には、IT企業の入居を想定しており、BONCHIを拠点に市内の様々な分野と連携し、デジタル技術を活かした社会課題解決や市内企業の新たな事業展開に寄与するものとする。また、オンライン予約システム及びセキュリティロック解除機能を導入し、予約状況や入居企業の利用情報を分析し、利用者のニーズを考慮した事業を展開するとともに利便性の向上と運営の効率化を図る。</p> <p>○施設整備等（設備整備・用地造成を除く）の内容</p> <p>【建築物本体工事：27,300千円】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事費 23,200千円 ・設計費 4,100千円 <p>【建築物と不可分な設備工事：4,100千円】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電気設備工事費 4,100千円 <p>【効果促進事業：3,000千円】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・備品購入 3,000千円 		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①地域における新規雇用者数（+2,000人） ②BONCHI入居企業に係る法人市民税増加額（+27,840千円） ③創業支援拠点施設における法人登記数（+15件） ④シェアオフィス新規入居数（+14件） 	関連URL	<p>（効果検証奈良市まち・ひと・しごと創生総合戦略懇話会）</p> <p>https://www.city.nara.lg.jp/soshiki/4/10863.html</p>

事業概要【（仮）子育て支援等複合施設整備事業】

拠点補正

申請者	奈良県奈良市	採択回	令和6年度第2回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	119,621千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	まちのシンボルとなる複合的な機能を有する子育て支援拠点を創設することにより、地域の子育てサービスの充実だけでなく、女性の就業に対する取組も支援し、新しいことに取り組む機運を高めることで、交流人口拡大や定住人口拡大による本市の地域創生の実現を目指す。		
整備内容・利活用方策	<p>大型商業施設に未就学児及びその保護者が利用できる子ども遊び場機能・地域子育て支援拠点機能・ワーキング機能を有する複合施設を整備し、地域の子育て支援の強化に繋げる。オンライン予約システムを導入することにより、利用者は24時間いつでも予約申請及び予約枠の残数を確認ができ、運営側は利用人数等を事前に把握することで安全対策等のオペレーションの効率化を図ることができる。さらに、個人情報以外の情報を分析することにより、曜日や時間帯に応じた適切な子育てサービスを提供する。また、子育て中の女性を対象に企業の即戦力となるDXスキルを習得するセミナーを開催し、DX人材の育成を図る。</p> <p>○施設整備等（設備整備・用地造成を除く）の内容 【建築物本体工事】内部改修工事 59,287千円 【建築物と不可分な設備工事】電気設備工事費 35,090千円、給排水設備工事 1,320千円</p> <p>○効果促進事業（ハード事業）の内容 【遊具等設置工事】76,000千円（うち交付対象事業経費23,924千円）</p>		
KPI <small>※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値</small>	①地域の人口・世帯数（+250世帯） ②（仮）子育て支援等複合施設の利用者数（+50,000人） ③創業相談・創業セミナー参加者数（+60人） ④同一商業施設内の買い物客の増加数（+5,555組）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制）調整中 （効果検証） https://www.city.nara.lg.jp/soshiki/4/10863.html



事業概要【まちなかの賑わい拠点整備事業】

拠点補正

申請者	奈良県川西町	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	128,634千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	川西町の中心地である結崎駅前において、駅前を人々の「目的地」とするべく製造許可付きシェアキッチンを中心とした飲食を提供できる拠点整備を目指す。		
整備内容・利活用方策	<p>駅前広場と一体的に利用することで様々なイベントシーンにも対応できる機能を有し、本地域でのイベント開催を活性化する機能を有します。さらに、シェアキッチンと一体的に大屋根に覆われたウッドデッキを配した広場の整備を予定しており、日常使いにおいても天候等を気にすることなく子どもと一緒に過ごせる空間が出来上がり、駅前が子育て世帯を中心とした町域内外の人で賑わう場所となり、人を中心としたまちづくりの拠点としての役割を担います。施設の利用に際しては、施設予約システムとスマートロックの連携で、管理人不在の施設でのカギ管理の手間をなくすことや利用後の支払いに関してもキャッシュレス決済を可能とし、利用者の利便性向上を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（仮称）結崎駅併設施設整備工事 112,409千円 ・（仮称）結崎駅併設施設 外構工事 16,225千円 		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ① 拠点周辺の地域における人口（+48人） ② 拠点施設を中心とした関係人口（+72人） ③ 拠点を軸とした住民等が主体のイベントの開催数（+34件） ④ 拠点をきっかけとした町内での実店舗の出店件数（+3件） 	関連URL	https://www.town.nara-kawanishi.lg.jp/



事業概要【ローラースケートパーク整備事業】

拠点補正

※PFI活用

申請者	奈良県川西町	採択回	令和6年度第2回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	101,526千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	<p>国が治水対策として設置する遊水池を町がローラースケートパークとして整備する。日本初の国際規格に準拠するオーバルトラックを設けることで、インラインスピードスケートの正式な大会を開催するとともに、町内に不足している子どもが安全に遊べる大規模な公園として活用することで、広域からの若年層の集客や町民の健康増進を図り、転入・定住を促進する。</p>		
整備内容・利活用方策	<p>日本初となる国際基準に準拠したオーバルトラックを整備することで、インラインスピードスケートの国際大会の開催が可能な施設とする。また、関係団体等と連携し、大会の映像をライブ配信することによって、日本のスポーツ振興及び本町のPRにつなげる。</p> <p>一般の利用者に向けては、オンライン予約システムを導入することで、利用者の利便性向上や施設運営側の業務の省力化を図る。また、施設予約時の利用者登録を起点に、利用後にオンラインアンケートを実施することで、利用方法や施設運営の改善に活かす。</p> <p>○用地造成・設備整備の内容 【建築物本体工事】 3,135千円 【用地造成工事】 77,986千円 【設備整備工事】 20,405千円</p>		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①地域の人口（+12人） ②施設の利用者数（+37,500人） ③施設でのイベント回数（+60回）</p>	関連URL	<p>https://www.town.nara-kawanishi.lg.jp/</p>

